

一学年 国語科課題 ④

1年 () 組 () 番 氏名 ()

◎配布された教科書のP 240の「言葉の単位」2言葉の単位」を読んで次の課題に取り組みましょう。
(※ eboard 言葉の単位と文節 2～3)

この課題は、言葉の性質や言葉のきまりを理解できるようにする力をつけるためのものです。

◎課題

①教科書P 240～243を読んで () に適切な言葉を入れて言葉の単位についてまとめよう。

文章・談話

・文章：ひとままとまりの内容を () で表したもの。

(例) 手紙、小説、短歌など

・談話：ひとままとまりの内容を () で表したもの。

(例) 演説、会話など

※文章・談話は最も大きな言葉の単位。

段落：文章を内容の () ごとに区切ったもの。

形式段落 形式に応じて分けた段落。

意味段落 意味に応じて分けた段落。内容に応じて形式段落をまとめたもの。

※段落の初めは改行して一文字下げる。

文：ひとままとまりの内容を表す一続きの言葉。

「。」 () 「や」? () 「」や「!」 () 「」で区切られたまとまり。

※文を書くとき、長くなる場合は途中で「とってん(読点)」を入れて読みやすくしよう。

文節： () () や () () のうえで不自然にならないように短く区切ったまとまり。

※文節は「ね」「さ」「よ」などを入れて区切ってみよう。

単語：言葉の意味を壊さないように文節をさらに () () のもの。

※単語は意味を持った言葉の**最小の単位**。働きによっていくつかの種類に分けることができる。

※「待ち合わせる(待つ+合わせる)」のように二つ以上の単語が結びつき、新たな意味を持つようになったものを**複合語**という。複合語は**全体で一つの単語**である。

(例) 飼育係、山登り、持ち越す、中間テスト など

【チャレンジ】言葉の単位を大きいものから順に並べてみよう!

大 () () () ↓ () () ↓ () () ↓ () () ↓ () () 小

②次の文章に「。」を打とう。

1 この種は四月の暖かい日にまく芽がでるまで毎日水をやる小さな芽が出たら水をやる回数を減らす

2 植物プランクトンは動物プランクトンや小魚のえさになる小魚はより大きな魚のえさになるアワビやウニはコンブやワカメなどの海藻かいそうを食べる

③次の文を文節に区切ろう。

(例) かばんに／付けた／すが／鳴る。

1 郵便局の右に、赤い屋根の家がある。

2 ここが、今月の初めに開店した新しいレストランだ。

3 僕は、先週夏風邪をひいて、学校を休んだ。

4 昨日の午後、私は同級生の夏子さんといっしょにバドミントンをしました。

④次の文を単語に分けよう。

(例) ドアの向こうから、フルートの美しい音色が聞こえる。

(ドア・の・向こう・から・フルート・の・美しい・音色・が・聞こえる

1 ソファアでうとうとと昼寝をする。

2 急行列車に乗り遅れる。

3 期末テストに向け、一生懸命勉強する。

4 日が沈み、辺りが急に薄暗くなる。

単語を区切るポイント!

①文節に区切る

②意味が分かる言葉を抜きたす

③単独では意味が通じない言葉(に、て、た など)を確認する